アクセス

鹿児島市電をご利用の方

市電2系統「唐湊(とそ)電停」または
「工学部前電停」下車(徒歩 約5分)

JRをご利用の方

指宿枕崎線「郡元」下車(徒歩 約12分)

市営バスをご利用の方
(鹿児島中央駅経由)

11番線(鴨池・冷水線)
20番線(緑ヶ丘・鴨池港線)
「法文学部前」下車(徒歩 約3分)

鹿児島交通バスをご利用の方
(鹿児島中央駅経由)

18番線(大学病院線)
19番線(紫原・桜ヶ丘団地線)
「法文学部前」下車(徒歩 約3分)

南国交通バスをご利用の方
(鹿児島中央駅経由)

N30番線「鹿大教育学部前」下車(徒歩 約3分)
N39番線「法文学部前」下車(徒歩 約3分)

最新情報は新法文学部のサイトをご覧下さい。
https://kadai-houbun.jp

法文学部に関するお問い合せ

鹿児島大学 法文学部 学生係
〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21番30号
TEL 099-285-7525
FAX 099-285-3597

2021年6月発行

令和4年度 受験者のために

鹿児島大学法文学部 概要

FACULTY OF LAW,ECONOMICS AND HUMANITIES

鹿児島大学法文学部は南九州唯一の人文社会科学系総合学部です。

鹿児島大学法文学部
FACULTY OF LAW,ECONOMICS AND HUMANITIES

目次

法文学部長より
法文学部のあゆみ ―― 2

法文学部で
3つの学びを実現する ―― 3

法文学部の理念と教育 ―― 5

学科・コース紹介

法経社会学科 ―― 7

法学コース ―― 9

地域社会コース ―― 11

経済コース ―― 13

人文学科 ―― 15

多元地域文化コース ―― 17

心理学コース ―― 19

入学定員と募集人員（令和4年度） ―― 21
留学

学生生活支援 ―― 22
カレンダー
就職状況
大学院

広く学ぶ。
深く学ぶ。
学びを活かす。

法文学部長より

法文学部の教育理念は、専門分野に関する高度な専門性だけでなく、人文社会科学に関する幅広い知識と能力を兼ね備えた人材を育成することにあります。

法文学部の前身は旧制第七高等学校を母体とする文理学部です。すなわち、法文学部は新制国立大学の鹿児島大学において、文系と理系の複合的な学部として発足しました。その後、学部の専門性を高める動きの中で文系分野と理系分野がそれぞれ別個の学部として独立しましたが、度重なる大学改革を経ながらも、法文学部は1965年の設置以来、法学、経済学、文学などそれぞれの専門分野をコアとして学習しつつ、他の学問分野の基礎的知識と能力を身につけることができる文系総合学部の特質を維持しています。

現代社会はグローバル化とその構造の複雑化が進行し、想像を超えたスピードで新しい価値や社会の仕組みが生み出されています。そのため社会で生じる様々な課題を一つの分野の専門知識だけで解決することは困難です。また多様な価値が生み出される現代においては、様々な学問に触れることにより正義の感覚を養うことも重要です。実際に社会のあらゆる領域において高い専門性だけでなく、現代にふさわしい正義の感覚と幅広い知識・能力を兼ね備えた人材が求められています。

法文学部は2017年に学部改組を行い、それまでの法政策、経済情報、人文の3学科制から法経社会、人文の2学科5コース制に移行しました。この改組により文系総合学部としての特質がさらに強化されました。法学、地域社会、経済、多元地域文化、心理学のいずれかのコースに所属し、自己の専門領域を深く学ぶ一方で、幅広く体系的に他の学問を学ぶ体制が組まれています。

また地域的課題の解決に必要な知識と能力の育成に加え、海外研修など多くの国際性豊かな科目も配置して、グローバルな視点から現代社会の諸課題を考え、解決する能力の育成にも積極的に取り組んでいます。このように鹿児島大学法文学部は、不断に変化する社会の多様なニーズに応えるための人材を育成するのに最もふさわしい学部の一つであると考えています。皆さんの入学を心待ちにしています。

法文学部長　松田 忠大

法文学部のあゆみ

1901年3月	第七高等学校造士館設置
1946年3月	第七高等学校と改称
1949年5月	鹿児島大学設置。第七高等学校を母体として文理学部（一般教養部を含む）が開設され、文学科・社会学科・理学科を設置
1965年4月	鹿児島大学法文学部を開設し、法学科・経済学科・文学科設置
1979年4月	大学院法学研究科設置／文学科が人文学科に発展
1986年4月	大学院人文科学研究科設置
1997年4月	法政策学科・経済情報学科・人文学科に発展
1998年4月	大学院人文社会科学研究科設置
2002年4月	大学院人文社会科学研究科地域政策科学専攻（博士後期課程設置）
2004年4月	法科大学院（司法政策研究科）設置
2007年4月	大学院臨床心理学研究科設置
2017年4月	法経社会学科（法学コース・地域社会コース・経済コース） 人文学科（多元地域文化コース・心理学コース）に改組

法文学部で3つの学びを実現する

広く学ぶ
総合性

深く学ぶ
専門性

学びを活かす
活用性

「広く学ぶ」「深く学ぶ」「学びを活かす」の3つの「学び」を基本とし、各コースの特色ある教育と分野横断的な教育をクロスさせたカリキュラムを準備します。

法文学部の教育理念

南九州唯一の人文社会科学系総合学部として、法文学部では、総合的な観点から人間と社会を深く理解し、情報化・国際化および地域社会の変化にともなう諸問題に適切に対処できる現実的な課題解決能力を持つ人材の育成を目指します。

特色ある教育

- すべての学生に開講される法文スタンダード科目
- 基礎・活用・実践の3つのフェーズに分かれた専門教育の展開
- 学際的な知識と現場感覚を身につける法文アドバンスト科目
- 学びをさらに飛躍させたい学生のための法文チャレンジ・プログラム

法文チャレンジ　プログラム　プラスαの学び

異文化体験チャレンジ・プログラム / 心理学チャレンジ・プログラム　　司法チャレンジ・プログラム / 地域再生チャレンジ・プログラム

法経社会学科
LAW,ECONOMICS AND SOCIOLOGY

社会科学を学ぶ

法学コース
法学・政治学の知見と広範な視野を持ったゼネラリストとして社会で活躍できる。

地域社会コース
地域社会の理解を深め、地域社会の課題を住民参画による協働形成によって解決できる。

経済コース
経済・経営・情報分野の基礎知識と専門性を持ち、地域の企業や自治体において中核的な立場で活躍できる。

人文学科
HUMANITIES

人文科学を学ぶ

多元地域文化コース
地域および世界の多元的な文化・歴史・環境への深い造詣に基づき、広い視野に立って、地域社会と国際社会の課題を実践的に解決できる。

心理学コース
人間の心と行動への深い理解に基づき、地域の様々な心理的問題の解決に貢献したり、心理学の知見を活かして産業・ビジネス分野で活躍できる。

法文アドバンスト科目

- 観光学
- まちづくり論
- 島嶼ツーリズム論
- 地域科学演習
- 現代社会を探る
- 自然科学から見る人・文化・社会
- インターンシップ
- 海外異文化体験実習 など

法文スタンダード科目　（人文社会総合論）

法文学部の理念と教育

法文学部では このような人材を求めています！

1. 人文社会科学を学ぶうえで必要となる幅広い基礎学力を備えている人
2. 地域社会と世界の人間・文化・社会に関心を持つ人
3. 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
4. 大学で自分の将来および可能性を探求する意欲のある人

法文学部では このような教育をおこないます！

総合性 広く学ぶ

法文スタンダード科目「人文社会総合論」：人文社会科学系総合学部としての特性をふまえ、法文学部のすべての学生が共通して身につけるべきものとして、人文科学や社会科学の基礎的な知識や多様な問題について考えるための幅広い視点を学びます。

専門性 深く学ぶ

段階的な専門教育：すべての学科・コースにおいて、「基礎」・「活用」・「実践」という3つのフェーズに分かれた専門科目を体系的・段階的に受講することで、より高度な知見や技能を身につけます。

基礎	学科やコースの学生が共通して理解すべきものとして、専門領域の基本的な考え方やその発展過程について学びます。
活用	多彩な授業科目を通じて専門的な知識や技能を磨き、現代社会や文化の諸問題について考える力を養います。
実践	現場での実習やゼミでの活動を通じて、他者とのコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、状況に応じた柔軟な発想力や主体的な行動力を身につけます。

活用性 学びを活かす

法文アドバンスト科目：学科やコースでの学びをさらに飛躍させ、学問分野を越えた学際的な知識を身につけるとともに、現場感覚を有した柔軟な発想力や実践力を磨きます。

法文アドバンスト科目Ⅰ

豊かな自然や歴史遺産を有する鹿児島を中心とした地域の可能性や課題を探り、地域社会に貢献するために、自治体や企業とも連携しながら、以下のような科目を開講します。

「観光学」「島嶼ツーリズム論」「まちづくり論」
「自治体政策総合論」「海外異文化体験実習」
「地域科学演習」「現代社会を探る」など

法文アドバンスト科目Ⅱ

文系・理系の枠にとらわれず、分野横断的な幅広い知見を身につけるために、理系学部とも連携しながら、以下のような科目を開講します。

「生命共生論」
「自然科学から見る人・文化・社会」
「水産学概論」
「比較酒文化論」など

法文チャレンジ・プログラム ▶ 広く学ぶ、学びを活かす

専門教育で培った知見や技能をさらに発展させるとともに、他学科や他コースの専門分野を含めた、さらなる学びを追究したい学生のために、右の4つのプログラムを用意しています。このプログラムを履修した学生には、修了証明を発行します。

- 司法チャレンジ・プログラム
- 地域再生チャレンジ・プログラム
- 異文化体験チャレンジ・プログラム
- 心理学チャレンジ・プログラム

総合的視点をもった体系的な教育によって、
社会科学の素養を活かした
思考力・表現力・ファシリテーション力を身につけ、
多様な社会を理解し、課題を発見する

深く学ぶ。学びを活かす。

法経社会学科

LAW, ECONOMICS AND SOCIOLOGY

法経社会学科では、人と社会に関する論理的・科学的な思考力・判断力・表現力を育み、幅広い視野の下で身につけた社会科学の素養を課題発見とその解決に活用できる人材の育成を目指しています。

法経社会学科の教育方針

- 法経社会学科は、地域社会、国際社会の抱える課題解決に深い関心を持つ学生の入学を待っています。
- 法経社会学科では、社会科学のさまざまな分野に関する知識・スキルを、基礎・活用・実践と段階的に学べる特色あるカリキュラムを用意しています。
- 法経社会学科では、地域社会、国際社会に貢献できる人材を育成します。

法経社会学科は、法学コース、地域社会コース、経済コースよりなり、それぞれ専門性を踏まえた学びを実現します。

法経社会学科スタッフ紹介

法学コース

伊藤 周平	（社会保障法）
上原 大祐	（刑法）
植本 幸子	（民法）
宇那木 正寛	（行政法）
大野 友也	（憲法）
齋藤 善人	（民事手続法）
志田 惣一	（商法）
鳥飼 貴司	（租税法）
中島 宏	（刑事手続法）
松田 忠大	（商法）
森尾 成之	（行政法）
米田 憲市	（法社会学）
原田 いづみ	（法律実務）
平井 一臣	（政治史、地域政治論、日韓関係論）

地域社会コース

井原 慶一郎	（芸術文化デザイン論）
小栗 有子	（社会教育学、環境教育論）
片桐 資津子	（福祉社会学）
片野田 拓洋	（自治体政策論）
金子 満	（子ども論、社会教育学）
城戸 秀之	（現代社会論）
桑原 司	（コミュニケーション論）
酒井 佑輔	（多文化共生教育論、社会教育学）
中島 大輔	（ドイツ都市文化史）
農中 至	（社会教育学、人権・格差論）

経済コース

石塚 孔信	（ミクロ経済学）
市川 英孝	（システム設計）
王 鏡凱	（経営財務論）
大芝 周子	（国際経営論）
北﨑 浩嗣	（地域計画論）
北村 浩一	（管理会計論）
澤田 成章	（財務会計論）
西村 知	（アジア経済論）
萩野 誠	（経営情報論）
馬場 武	（情報マネジメント）
林田 吉恵	（財政政策論）
日野 道啓	（国際経済学）
松川 太一郎	（経済統計論）
三浦 壮	（日本経済史）
山本 一哉	（国際金融論）

（令和3年6月現在、50音順）

法経社会学科 法学コース

専門的知識を用いて、地域社会や国際社会の諸問題を発見し解決策を発信できる人材を育成

法学コースでは、法学・政治学に関する知識、論理的・科学的思考力と実践的な判断力、自らの考えを他者に伝える表現力を身につけます。これによって、地域社会や国際社会が置かれた諸状況の中から解決すべき課題を発見し、多様な考えや視点を踏まえつつ適切に解決するためのファシリテーション能力を有する人材を育成します。

※新型コロナウイルス感染拡大状況においては、マスク着用や座席間隔の確保、教室の消毒などの感染予防対策を取りながら授業を行っています。

授与する学位

- 学士（法学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（社会）
- 高等学校教諭一種（公民・商業）

VOICE 在学生の声

南出 栞歩さん 法学コース4年

現在法学コースで学んでいる憲法や法律は、生活する上で根底にあるものなので、法曹系の職業に進まずとも、学んだことは将来的に役に立ちます。また法学コースの大きな特徴の1つは、他のコースの授業も受講できる点です。私は大学で法学か心理学を勉強してみたいと考えていたので、心理学も学んでいます。他にも私の場合、他分野を学びたくてマレーシアにも海外留学しました。このように、法学コースは、多くのことを学べる環境が整っているので、新しい自分をたくさん発見できました。

教育の特徴

3つの履修モデル

卒業後の進路をイメージした「公共政策法」「国際企業取引法」「司法」の3つの履修モデルに沿って学修を進めることによって、それぞれの進路で役立つリーガルマインドや高度な法的スキルを身につけることができます。

実践的な法学教育

新しい時代に合った法学教育の手法を積極的に採り入れ、演習（ゼミナール）の他、実践演習（模擬裁判、法情報論、海外研修、法律事務所等でのインターンシップ等）などの科目を多数開講しています。これらの履修を通じて、高度な実践力を身につけることができます。

多様な進路

鹿児島大学における法学教育は、国家・地方公務員（県庁・市役所・裁判所・各中央省庁ほか）、九州や国内各地の有力企業、法律専門職（弁護士・司法書士・税理士ほか）など、社会の様々な分野に多くの人材を送り出してきました。法学コースはその伝統を承継しています。

カリキュラム

1年次
社会科学の基礎を学ぶ
社会科学の諸分野の全体像について把握します。

2年次
専門知識の基礎を学ぶ
法学・政治学の本格的な学びを開始し、理解を深めます。

3年次
修得した知識を実践的に身に着ける
専門知識の学習を深めるとともに、演習等の実践科目を通してこれらの知識を実践的に身に着けていきます。

4年次
コースの学びを活用する
学んだ実践的な知識の修得の確認を行い、将来の進路に向けた準備をします。

主な就職先

- 公務員
- 民間企業
- 法律系各種資格取得
- 法科大学院進学

など

VOICE 卒業生の声

今屋 倫美さん 鹿児島地方検察庁検察事務官 2014年卒業

大学時代に学んだことで、最も今活かされていることといえば、思考を整理し、自分の意見を相手に伝える方法を習得できたことではないかと思います。執務中、事件の関係者に説明をする場面、検察官に事件についての意見を求められる場面などが多くあります。そのようなときにどう伝えるか、その方法はゼミや授業でのプレゼンやディベートの機会に苦しみながら学びました。どの職種に携わるうえでも、相手方へ配慮しつつ意見することが求められますが、大学はその練習ができる場所だという自覚を持って過ごすことで、さらに価値のあるものになるのではないでしょうか。

法経社会学科 地域社会コース

地域社会の理解を深め
地域社会の課題を解決できる人材を育成

地域社会コースでは、コミュニティの観点から社会学・社会教育学を中心に地域社会の現状と課題を学び、地域社会が抱えるさまざまな課題を住民参画による協働形成によって解決できる人材を育てます。
地域づくりの基礎であるコミュニケーション能力、地域社会の住民の視点からその課題や可能性を発見する能力、住民相互や行政など地域の組織団体との協働に必要なコーディネーターとしての能力を身につけることができます。

※新型コロナウイルス感染拡大状況においては、マスク着用や座席間隔の確保、教室の消毒などの感染予防対策を取りながら授業を行っています。

授与する学位

- 学士（学術）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（社会）
- 高等学校教諭一種（公民・商業）
- 社会教育主事
- 社会福祉主事

VOICE 在学生の声　木村 美穂さん　地域社会コース3年

地域社会コースでは、社会学、社会教育、自治体政策など様々な角度から地域を捉えます。対面と遠隔どちらの授業もアクティブラーニングが多く含まれているので、学生同士が意見を交わすことで、互いに刺激を受けながら学ぶことができます。私が所属するゼミでは、ディスカッションを通して話す力や聞く力を身につけています。私自身最初はディスカッションが苦手でしたが、回数を重ねるごとに学生それぞれの意見を聞くことへの関心が高まってきました。また、ゼミの活動をTwitterで発信したり、動画制作を行ったりするなど、デジタル社会で求められるスキルも身につけて、自分自身の成長につなげています。

教育の特徴

2つの履修モデル

地域社会コースでは学生の将来の進路を踏まえて、「地域社会の課題発見を学ぶ履修モデル」と、「地域社会の協働形成を学ぶ履修モデル」を用意しています。前者には社会学、文化研究、自治体政策に関する科目、後者には社会教育・生涯学習に関する科目があり、相互に関連・補完し合っています。

少人数教育

地域社会コースでは演習、特殊研究、地域社会実習などにおいて少人数教育をおこないます。資料収集、レジュメ作成、報告、討論などを通じて、論理的思考力、表現力、実践力を育成します。コース定員50名に対してきめ細かい指導をおこないます。

特色ある資格

地域社会コースでは教員免許状に加えて、社会教育主事、社会福祉主事の任用資格を取得することができます。社会教育主事は地域の課題発見や未来を考える住民の手助けをおこない、暮らしの再生につながる学習を組織する教育専門職です。

カリキュラム

1年次
社会科学の基礎を学ぶ
社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握します。

2年次
コースの基礎を学ぶ
コースの基幹科目を履修して学修する専門領域の基礎を築きます。

3年次
コースの学びを深める
専門領域の学修を通して論理的思考力、表現力、実践力を向上させます。

4年次
コースの学びを活用する
これまで学んだことを活用して特殊研究に取り組み、課題解決能力を身につけます。

2年次から地域社会コースに分かれ、ゼミ（演習）を選択します。

主な就職先

- 民間企業
- 公務員
- 教員
- 団体職員　など

VOICE 卒業生の声　岡本 侑樹さん　熊本県庁　2020年卒業

県庁では様々な業務を担当しており、県庁内だけで完結させることはできません。外部の組織と連携しながら業務を行っています。業務を行う際にその組織と県はどのような関係でどのような役割を担っているか等を理解できないと周りに説明できず、業務を円滑に遂行することができません。そのため、業務を分析・理解し、相手に分かりやすく伝える力が求められます。この力を私はゼミナールでの地域活動を通して身につけました。地域活動を行う際に地域の特徴を理解し、地域に合わせた活動を行い、その活動の意義を地域住民に分かりやすく伝えることを心掛けました。このような大学時代の経験が県庁で働くうえで大いに役立っていると感じます。

法経社会学科 経済コース

地域の企業や自治体において中核的な立場で活躍できる人材を育成

経済コースでは、経済・経営・情報分野の基礎知識と専門能力をもち、地域の発展に指導的な役割を果たす人材、国際的な視野から問題を発見し解決できる人材を育てます。

※新型コロナウイルス感染拡大状況においては、マスク着用や座席間隔の確保、教室の消毒などの感染予防対策を取りながら授業を行っています。

授与する学位

- 学士（経済学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（社会）
- 高等学校教諭一種（公民・商業）

VOICE 在学生の声

大隈 真珠さん 経済コース3年

私はコースを選ぶ時点では将来就きたい職業などは特に決まっておらず、経済分野を学びながら将来やりたいことを探そうと考えていました。現在は授業でミクロ・マクロの経済学をはじめとした分野や統計学も学びつつ、ゼミではそれを活かせるような研究を少しずつ進めています。経済コースには個性も知性も豊かな先生方が沢山いらっしゃいます。私も楽しい大学生活を送ることができています。少しでも興味があれば是非リサーチしてみてはいかがでしょうか。

教育の特徴

2つの履修モデル

経済コースでは、学生の将来の進路を踏まえて、「地域再生のための政策立案能力を育成する履修モデル」と、「地域再生のためのマネジメント能力を育成する履修モデル」を用意しています。

少人数教育

経済コースでは、演習、特殊研究において少人数教育をおこないます。資料収集、レジュメ作成、報告、討論などを通じて、論理的思考力、表現力、実践力を育成します。

情報処理教育

1年次から4年次まで段階的に情報処理教育をおこない、実社会で必要とされる情報処理教育を習得できるようにカリキュラムが構成されています。

カリキュラム

1年次
社会科学の基礎を学ぶ
社会科学の諸分野の全体像と地域との関わりについて把握します。

2年次
コースの基礎を学ぶ
コースの基幹科目によって、学修する専門領域の基礎を築きます。

3年次
コースの学びを深める
専門領域の学修を通して、論理的思考力、表現力、実践力を向上させます。

4年次
コースの学びを活用する
これまで学んだことを活用して特殊研究に取り組み、課題解決能力を身につけます。

2年次から経済コースに分かれ、ゼミ（演習）を選択します。

主な就職先

- 民間企業
- 公務員
- 教員
- 団体職員

など

VOICE 卒業生の声

永山 雄大さん 鹿児島県庁 2020年卒業

鹿児島県庁職員として働き始めて2年目になります。初任地が離島だったので、最初は戸惑いましたが、周囲のサポートを得て、県庁職員として働くことに慣れてきたところです。大学時代は情報系ゼミに所属していました。ゼミでは3年次に毎月卒業論文の進捗状況を発表し、他のゼミ生や先生の意見・質問等を取り入れて研究を進めました。4年次には3年生をチューターとしてサポートしましたが、それぞれに大変さがあり、毎月苦労していたのを覚えています。私は公務員を目指すのが遅かったということもあり、公務員試験に直接関係のないゼミに入りましたが、先生をはじめ様々な人と出会い、想像していなかった有意義な経験ができ、良かったと思っています。

総合的な視点を持った体系的な教育によって、
人文科学の素養を活かした
思考力・表現力・コミュニケーション力を身につけ、
多様な文化を理解し、課題を発見する

深く学ぶ。学びを活かす。

人文学科

HUMANITIES

人文学科では、少子高齢化、高度情報化など地域社会が抱える諸問題について、人文科学の体系的な知識をもとに、人と文化に関する論理的・科学的な思考力、さらには多様性に対応したコミュニュケーション力を持って、実践的に対処できる人材の育成を目指しています。

人文学科の教育方針

- 人間の心や歴史・文化・環境に深い関心を持つ学生の入学を待っています。
- 人文科学の様々な分野に関する知識・スキルを基礎・活用・実践と段階的に学べる特色あるカリキュラムを用意しています。
- 地域社会に貢献できる人材を育成します。

人文学科は多元地域文化コースと心理学コースがあり、専門性を踏まえた学びを実現します。

人文学科スタッフ紹介

多元地域文化コース

石田 智子	（考古学）
内山 弘	（日本語学、日本中世文学）
太田 一郎	（社会言語学、メディアとことば、方言学）
太田 純貴	（美学芸術学、メディア論）
大田 由紀夫	（東アジア近世史）
尾崎 孝宏	（文化人類学）
金井 静香	（日本中世史）
兼城 糸絵	（文化人類学）
小林 善仁	（人文地理学）
近藤 和敬	（現代哲学）
櫻井 芳生	（現代文化論・社会学）
柴田 健志	（哲学）
末松 信子	（英語学）
スティーブン・コーダ	（英語コミュニケーション・応用言語学）
高津 孝	（中国文学、書誌学）
竹内 勝徳	（アメリカ文学）
竹岡 健一	（ドイツ文学、出版学）
藤内 哲也	（西洋史、イタリア史）
中島 祥子	（日本語教育、異文化間教育、社会言語学）
丹羽 謙治	（日本近世文学）
福永 善隆	（中国古代史）
細川 道久	（西洋史、カナダ史、イギリス帝国史）
三木 夏華	（中国語学）
宮下 正昭	（報道論、地域とメディア論）
梁川 英俊	（フランス文学、ケルト学）
大和 高行	（イギリス文学）
與倉 アンドレーア	（ドイツ語圏文学）
吉田 明弘	（自然地理学、第四紀学）
渡辺 芳郎	（窯業考古学、物質文化論）

心理学コース

安部 幸志	（生涯発達心理学、健康心理学）
飯田 昌子	（臨床心理学、児童期臨床心理学）
大薗 博記	（社会心理学、進化心理学）
菅野 康太	（行動神経科学）
榊原 良太	（社会心理学、産業・組織心理学）
富原 一哉	（比較心理学、神経科学）
平田 祐太朗	（臨床心理学、コミュニティ援助論）
山﨑 真理子	（社会心理学、消費者心理学）
横山 春彦	（認知心理学）
米田 孝一	（心療内科、心理査定学）

（令和3年6月現在、50音順）

人文学科 多元地域文化コース

幅広い知識と視点から地域社会と国際社会の課題を解決できる実践力のある人材育成

多元地域文化コースでは、メディア・現代文化から、世界の諸地域に関する思想・文学・文化・歴史・環境まで、幅広く学ぶことができます。人文科学の基礎知識やスキルをバランスよく学ぶことができ、さらに自分の興味に沿った専門的な知識を習得できます。広い知識と深い専門性を活かし、人間社会の様々な事象を多面的に捉えられる分析力を身につけ、グローバル化や地域の抱える諸問題に対して自ら対応できる人材を育成します。

※新型コロナウイルス感染拡大状況においては、マスク着用や座席間隔の確保、教室の消毒などの感染予防対策を取りながら授業を行っています。

授与する学位

- 学士（文学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（国語・英語・社会）
- 高校教諭一種（国語・英語・地理歴史・公民）
- 学芸員

VOICE 在学生の声

今村 心太さん　多元地域文化コース4年

多元地域文化コースは、様々な国や地域の習慣、言語、歴史などに興味を持つ人にお勧めです。私の所属するゼミでは、若者からの統計データなどをもとに現代文化について研究しています。たとえば若者とロックバンドの関係性、若者とチラシなどのテーマです。研究の題材は自由に選ぶことができ、かつ先生の手厚いサポートを受けることができます。また充実した卒論指導や就活支援も強みです。私はゼミに入った当初不安で一杯でしたが、今では卒論も就活も順調です。

教育の特徴

バラエティー豊かな科目

思想・歴史・文学・語学・環境・メディアなどの人文科学に関するバラエティー豊かな講義科目を開講しています。世界・日本などの様々な地域における人間や社会、文化に関する知識を幅広く身に着けることができます。

実践力を養う教育

講義科目で得た知識をより発展させることのできる演習、実験、実習、海外インターンシップなど、多彩な教育カリキュラムを用意しています。実社会で必ず求められる問題の発見力・解決力を持った人材の育成を目標にしています。

きめ細やかな指導

自分の発見した興味について、知識に磨きをかけるとともに、世界や日本の抱える諸問題に柔軟に対応できる人材の育成を目指しています。そのため、3年次からゼミの所属となり、専門性の高い教員から、きめ細やかな指導が受けられます。

カリキュラム

1年次
人文科学の基礎と教養を学ぶ
社会で必要な教養を身につけるとともに、人文科学の基礎知識を習得します。

2年次
幅広い知識を学び興味を発見する
多彩な分野の基礎的な講義を受け、幅広い知識と自分の興味にあった専門分野を探ります。

3年次
自分の興味について知識を深める
自分の興味にあった専門分野のゼミに所属して、深い知識や高度なスキルを学びます。

4年次
研究テーマについて卒業論文を書く
学んだことを活用し、教員の指導を受けながら、自分の研究テーマに取り組みます。

主な就職先

- 公務員
- 教員
- 民間企業
- マスコミ
- 博物館　など

VOICE 卒業生の声

丸山 翔太さん　双日株式会社　2015年卒業

現在、双日(株)という総合商社にて、ベトナムの工業団地開発・運営に携わり、海外を舞台に仕事をしています。このようなグローバルな仕事ができるのは、鹿児島大学で個性豊かな仲間達と過ごしたキャンパスライフのおかげです。入学当時の私は、一度も海外に行ったことが無く、英語も得意ではありませんでした。しかし、自由闊達な鹿児島大学の雰囲気のもと、私は多くの学友や教員に恵まれ、海外という外の世界に視野を広げることができました。最終的には、協定校であるKasetsart Universityで8か月の交換留学を経験することができ、世界を舞台に活躍できる経営者を目指すようになっていました。世界のどこにいても、鹿児島大学で学んだ日々は、私の何よりも大きな財産となっています。

人文学科 心理学コース

他者に寄り添い地域の「心の健康」を支える人材と心理学を生かしてビジネス分野で活躍できる人材の育成

心理学コースでは、心理学の基礎から応用まで、幅広くかつ専門的に学びます。人間の心と行動を科学的に理解するための基礎的知識を身につけ、そこからさらに心の健康に関する実践的技能や消費者心理などの実用的技能を修得するカリキュラムが用意されています。人間の心と行動への深い理解に基づき、地域の様々な心理的問題の解決に貢献できる人材と、産業やビジネスに心理学的側面から貢献できる人材の育成を目指します。また、公認心理師受験資格を得られる教育体制・カリキュラムを整えています。

※新型コロナウイルス感染拡大状況においては、マスク着用や座席間隔の確保、教室の消毒などの感染予防対策を取りながら授業を行っています。

授与する学位

- 学士（文学）

取得できる資格

- 中学校教諭一種（国語・英語・社会）
- 高校教諭一種（国語・英語・地理歴史・公民）
- 学芸員
- 認定心理士
- 公認心理師（受験資格）

※受験資格を取得するには、大学院への進学などが必要になります。詳しくは厚生労働省の公認心理師関連情報をご確認ください。なお、公認心理師受験資格取得に必要な指定科目の一部には、成績等による受講制限（約30名）が設けられております。

VOICE 在学生の声

中村 美遊さん 心理学コース4年

心理学コースでは、様々な心理学分野について幅広く学ぶことができます。座学で知識を蓄えるだけでなく、実際に分析や実験をすることでより実践的に学んでいます。外部の方に実験協力を依頼したりマウス実験を行ったりするので、心理学コースならではの貴重な経験を積むこともできます。また、産業実習や病院実習を行えることも魅力の一つです。私が選択した産業実習では、企業とコラボレーション企画を行い、自分達が作成した資料を店頭に置いていただいたことで、社会と心理学の関わりについて実感することができました。このように、心理学コースでは様々な学習や経験を通して、心理学について幅広く学ぶことができます。

教育の特徴

科学的思考力の育成

「心理学研究法」や「心理統計法」などの基礎科目によって、人間の心と行動を科学的/客観的に分析・理解する能力を育成します。このような科学的思考力は、全ての心理学分野の基礎になるだけでなく、実社会の複雑な問題を理解し、解決策を導く際に役立ちます。

2つの履修モデル

カウンセリングから脳科学まで、幅広い内容の心理学を学習することによって多角的に心理的問題にアプローチする能力を養います。また、「コミュニティ心理支援」と「産業心理支援」の2つの履修モデルにより、それぞれの現場に特化した知識・技能の獲得が可能になります。

現場で活きる知識・技能

文系総合学部の特徴を生かし、社会制度や経済状況など複雑な要因が絡みあう心理的諸問題を解決するための幅広い視野の獲得を目指します。また、実際の現場での実習科目によって、心理学の知識を適切に役立てるための実践的判断力とコミュニケーション力を養成します。

カリキュラム

1年次
学びの基礎を築き、心理学を概観する
初年次教育により学びの基礎を築き、基礎科目により心理学への導入を行います。

2年次
幅広い心理学の知識・技能を修得する
様々な心理学領域について学ぶとともに、心理学の基礎技能を修得します。

3年次
2つの履修モデルで実践力を高める
現場の課題を学び、実際の現場で活動することにより、実践力を高めます。

4年次
学びを統合して卒業論文を完成させる
興味関心に基づき深く学び、学んだことを活かして卒業論文を完成させます。

心理学コースでは、自らの興味関心や将来のキャリア計画に基づいて「コミュニティ心理支援」と「産業心理支援」のどちらかの履修モデルを選択します。
また、両方の履修モデルの単位を修得することも可能です。

主な就職先

- 心理職公務員
- 病院等の心理士
- 民間企業
- 行政職公務員
- 教員　など

VOICE 卒業生の声

田坂 英恵さん 株式会社日経リサーチ　2015年卒

私は現在、日経リサーチという調査会社で、各省庁が実施する基幹統計の実施に携わっています。国が実施している統計調査は「意見」ではなく「事実」を収集する調査ですので、一見、人の心や行動を理解する「心理学」とは対照的に思われます。しかし、このコースで学んだ統計学の知識と、仮説検証で学んだ論理的思考は、クライアントとのやりとりにおいて、説得力を高める上で大変役立っています。また、一般企業をクライアントとしている部署では、企業の抱える課題のヒアリング方法から調査票の構成、データの見方まで、「心理学」で学んだスキルが大いに活かされています。

入学定員と募集人数（令和4年度）

学科	コース	入学定員	コース定員	募集人数					
				一般入試		特別入試			
				前期日程	後期日程	推薦入試Ⅱ	自己推薦入試	国際バカロレア入試	私費外国人学部留学生入試
法経社会学科	法学コース	245	90	72	8	10	ー	若干名	若干名
	地域社会コース		50	98	20	商業科等 7	ー		
	経済コース		105			全学科 30	ー		
人文学科	多元地域文化コース	165	125	80	15	25	5		
	心理学コース		40	30	ー	8	2		
計		410	410	280	43	80	7		

（法経社会学科の地域社会コースと経済コースについては、2年次に進む際にコースを決定します。）
※一般入試および特別入試の実施教科・科目、入試スケジュール等については、「令和4年度 入学者選抜要項」（鹿児島大学、令和3年7月）をご覧ください。

留学

鹿児島大学では、主に、異文化理解と外国語運用能力の研鑽を目的として、世界26か国・地域の91機関（2021年1月1日現在）と大学間での学術交流、さらに、法文学部では、ドイツのミュンヘン大学、中国の内蒙古大学、内蒙古師範大学、上海海事大学、長江大学、海南大学、台湾の暨南国際大学、韓国の釜山大学校、タンザニアのセント・オーガスティン大学タンザニア、フランスのEMBA-ISUGA、イタリアのフィレンツェ大学との学部間学術交流を実施し、留学生の受け入れと本学生の派遣を行っています。令和元年度の学生派遣先は、右の表のとおりです。こうした学術交流協定に基づいた留学のほか、語学研修のために海外に赴く学生もいます。

派遣実績

令和元年度 36名

令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大のため派遣せず

釜山大学校

ミュンヘン大学

国・地域	大学
韓国	韓国外国語大学校
	済州大学校
	江陵原州大学校
	釜山大学校
中国	清華大学
タイ	カセサート大学
オーストラリア	ニューイングランド大学
マレーシア	プトラ大学
フランス	レンヌ第2オート・ブルターニュ大学
	ボルドー・モンテーニュ大学
	EMBA-ISUGA
スウェーデン	リンシェーピン大学
ドイツ	ミュンヘン大学

学生生活支援

奨学金・授業料免除制度・学生寮

経済的に学生生活を援助する制度としては、奨学金と授業料免除の制度があり、法文学部の約5割の学生がなんらかの奨学金を受けています。また、学生寮の個室の場合、男女とも月額4,300円です。

令和2年度 法文学部 奨学金受給者・授業料免除者数実績

日本学生支援機構奨学生	813名	
その他の奨学生	35名	
授業料免除者	全額 339名	563名
	2/3 78名	
	半額 101名	
	1/3 45名	

カレンダー

SPRING	4月	・入学式　・新入生オリエンテーション　・前期授業開始
SUMMER	8月	・前期末試験　・夏季休業（～9月）
AUTUMN	10月	・後期授業開始
	11月	・開学記念日（11月15日）　・大学祭
WINTER	12月	・冬季休業（～1月）
	2月	・後期末試験
	3月	・卒業式

就職状況

法文学部 就職率 **94.0%**
※令和2年度卒業者

高い就職率を実現

法文学部は94%という高い就職率を誇り、就職以外にもさらなる進学や資格取得など希望に応じた多様な進路選択が可能です。

出身地での地元就職、地域への貢献

例年就職先の3～5割が鹿児島県内、3割前後が鹿児島以外の九州地方内です。地域の企業や各種機関で中核を担う人材として活躍しています。九州内外を問わず多くの人が出身地を中心に各自治体や国の機関、地元有名企業に就職し、活躍しています。

広い世界への飛躍

出身地に関わらず、首都圏など大都市圏の自治体、全国区での国家機関や一部上場企業への就職を希望する人達も夢を叶えています。

地区別就職状況

※令和2年度卒業者
※詳細は「鹿児島大学」ホームページトップより関連情報：「就職・進路データ」をご覧ください。

大学院

大学院人文社会科学研究科には、博士前期課程（社会科学を基礎とした法学専攻・経済社会システム専攻、人文科学を基礎とした人間環境文化論専攻・国際総合文化論専攻）が、また専門職大学院として臨床心理学研究科（臨床心理学専攻）が設けられており、学部卒業後さらに高度の知識・技能を習得することができます。さらに、博士後期課程（地域政策科学専攻）も設けられています。

- 大学院
  - 人文社会科学研究科
    - 博士前期課程
      - ・法学専攻
      - ・人間環境文化論専攻
      - ・経済社会システム専攻
      - ・国際総合文化論専攻
    - 博士後期課程
      - ・地域政策科学専攻
  - 臨床心理学研究科
    - ・臨床心理学専攻